

一般質問（要旨）

一般質問は、定例議会において提案された議案に関係なく、市の一般事務について市の方針をたずねるものです。

公明党

藤浪 清司 議員

AEDについて

（質問）公共施設のAEDは取り出しやすい状況にあるか。AEDはパッドを素肌に貼る必要があるため、相手が女性だとちゅうちょして対応が遅れる懸念がある。プライバシーを保護する三角巾などのシートと説明書を配置すべき。

（答弁）AED設置箇所の表示など環境整備に努める。AEDが設置されている全ての市内公共施設に三角巾とプライバシーに配慮した使用方法の説明書をAEDケース内に設置していく。

その他の質問 ○下水サーベイランス
（疫学調査）○市民にやさしい窓口
○税外収入確保



市民の声

藪田 啓介 議員

最高に住みやすいまち すずか

（質問）子育て支援においては、鈴鹿市ファミリー・サポート・センターのようにお互いに支え合う仕組みが必要であり、市職員の参加も重要であると考えがどうか。また、支援を必要とする方が支払う利用料金の減額と運営NPO法人への補助金の増額は可能か。

（答弁）市職員のファミサポへの参画は可能であり、退職職員にも参画を呼び掛けている。また、利用料金については、ひとり親家庭に対して利用料金の一部を助成しているが、助成対象者の拡充も含め、利用料金などの仕組みについても検討していきたい。



市民の声

中西 大輔 議員

市民参画について

（質問）審議会でのパブリックコメントの扱い、子ども条例策定における市民参画に疑問。市民参画による「市民参画条例」および関連する規則などの策定を提案する。

（答弁）政策や各種計画の策定過程で、意見交換会、市民委員会、タウンミーティングなどの開催をはじめ、審議会への諮問などにより意見を聴取し反映に努めている。このように鈴鹿市まちづくり基本条例において、市民参画の理念が整理され、市民参画が図れるような仕組みを構築している。

その他の質問 ○西部地域の取り組み



新緑風会

松葉谷 光由 議員

少子化対策について

（質問）本市の若者世代が、安心して子育てができ、教育が受けられるような環境が整っていることが大事であり、高校を卒業する18歳までの医療費窓口負担無料化の拡大が必要であると考えが、本市の考えについて問う。

（答弁）財政力の差などによって格差が生じることは望ましくない。国に対しても、全国一律の子ども医療費助成制度の創設について、引き続き要望するとともに、高校生までの対象年齢の拡大については、財政的な課題はあるものの、できるだけ早期に実現できるよう検討を進めていく。



市民の声

藤井 栄治 議員

中勢バイパスについて

（質問）市街地を通行する大型トレーラーが激減し新しい道路の開通は喜ばしい。しかし開通した道路は3カ所の主要道路と交差しているが全て平面交差である。渋滞対策も先行する津市と比べ見劣りするため市の意見を伺う。また、4車線化工事に向けて高架交差点整備を要望する。

（答弁）3カ所の平面交差は、道路法の道路構造令に従っており、早期の供用開始も考慮した整備である。また、今後の渋滞対策については、国土交通省とも連携し取り組む。

その他の質問 ○燃料電池自動車 ○おもいやり駐車場



新緑風会

曽我 正彦 議員

地域公共交通について

（質問）公共交通空白地域での新たな移動手段となるデマンド型交通実証運行事業の進捗状況と今後のスケジュール、地区選定および本格運用後の地域の実情に応じた移動手段確保のための手引書の概要について問う。

（答弁）市民アンケートの結果や移動実態などを基にシステムでのシミュレーション分析、鈴鹿市地域公共交通会議での協議結果を踏まえ地域を選定していく。手引書は、地域の実情に応じた新たな移動手段導入に向けて必要な準備について段階的に整理している。

その他の質問 ○遊休農地の解消

